

1 主題名：いのちをたいせつに 【生命の尊さ】低D- (17)

2 ねらいと教材

ハムスターのお母さんの気持ちを考えることを通して、生きることのすばらしさや自分を大切に育ててくれた家族の思いに気づき、生命を大切にしようとする心情を育てる。

(2) 教材名

ハムスターの赤ちゃん (わたしたちの道徳 小学校1・2年 文部科学省)

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容についての教師の捉え方

中心とする指導内容は、D「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」の(17)「生命の」尊さである。生命の尊さを概念的な言葉での理解とともに、自己との関わりで、生きることのすばらしさや生命の尊さを考え、自覚を深められるように指導することが求められている。

低学年段階の指導においては、日々の生活経験の中で生きていることのすばらしさを感じとることが中心になる。体にはぬくもりがあること、心臓が鼓動していること、おいしくご飯が食べられること、みんなと楽しく学習や生活ができること、当たり前なことで見過ごしがちな「生きている証」を感じとらせたい。また、自分の誕生を心待ちにしていた家族の思いや、自分の生命に対して愛情をもって育ててきた家族の思いに気づくなど、自分の生命そのもののかけがえのなさに気づくようにする。そして、生きている喜びやすばらしさを実感させ、生命の大切さを自覚できるようにしていきたいと考える。

(2) 児童のこれまでの学習状況や実態と教師の願い(児童・生徒観)

～中略～

(3) 使用する教材の特徴や取り上げた意図及び具体的な活用方法

本教材は、ハムスターの誕生や成長の様子に対する主人公の思いや願いが表現されている。お母さんのお乳をのんでいる生まれたばかりの赤ちゃん、お母さんの口にくわえられている赤ちゃん、生まれて十日たった赤ちゃん、これからどんどん大きくなる赤ちゃん。一生懸命に生きるハムスターの赤ちゃんの姿から、生きることのすばらしさや生命を大切にしようと考えさせられる教材である。

本時の指導では、ハムスターのお母さんの気持ちを考えさせお母さんと赤ちゃんを動作化することによってお互いの思いを共感させたい。振り返りでは、生きていることの喜びや命の大切さを感じとらせたい。また、家族からの手紙を読み、家族に大事に育てられてきたことに気づくことによって、命を大切にしようとする心情を育てたい。

今年度の本校の研究主題は、『自己の生き方をみつめる児童の育成～道徳科の研究を通して～』である。家族からの手紙を読み、ハムスターの成長から自分の成長を考えることを通して、自分のこれまでの生活を振り返り、これからの自己の生き方をみつめることで研究主題へとつながっていくものとする。

#### 4 学習指導過程

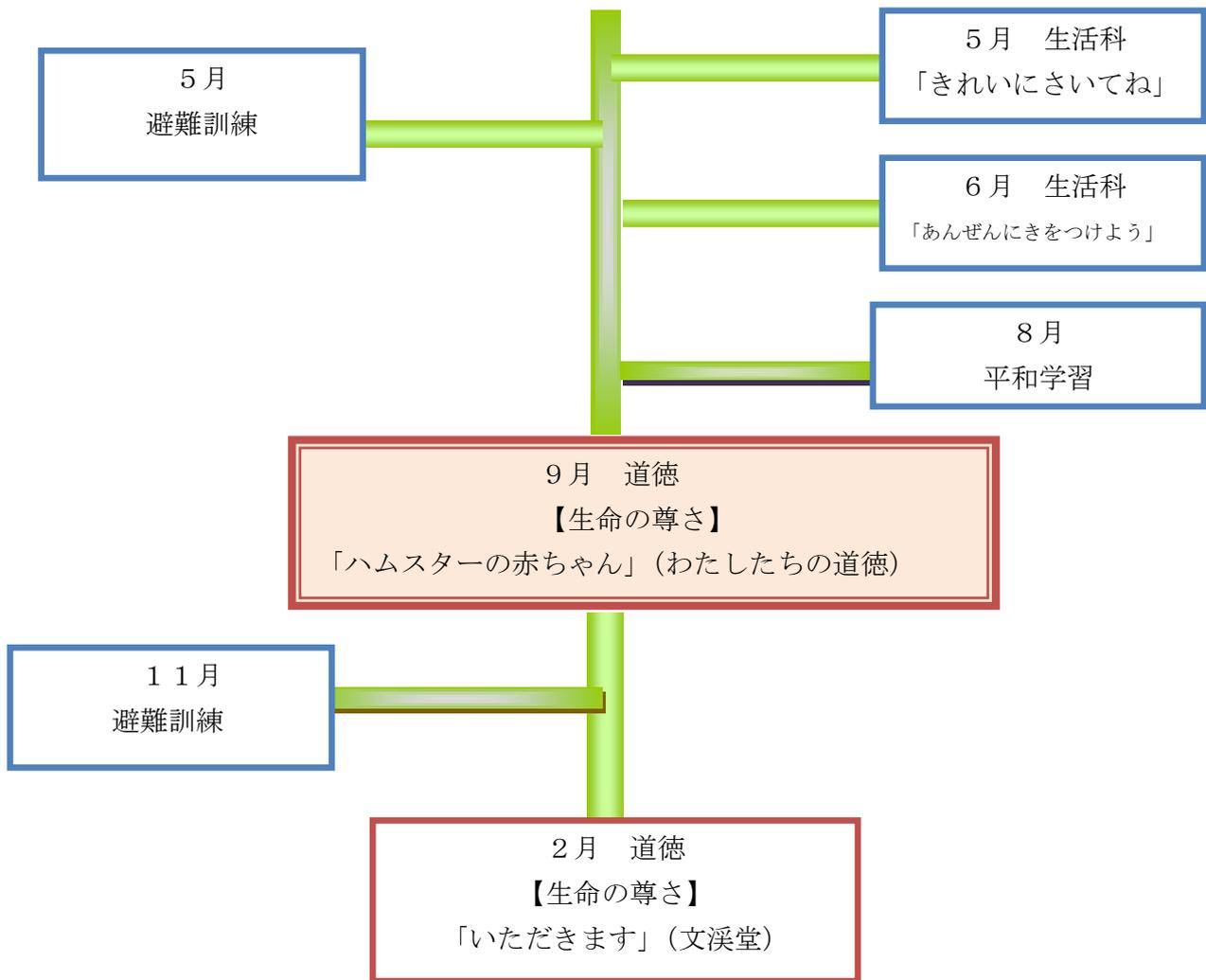
	学習活動	主な発問と予想される児童生徒の反応	指導上の留意点
導入	1 生きていることについて考える。	○どのようなときに、「生きている」ことをかんじますか。 ・手があたたかい。 ・友達と遊べる。 ・おいしく食べられる。	・日々の生活経験をもとに、ねらいとする資料への方向づけを行う。
展開	2 教材「ハムスターの赤ちゃん」を読んで話し合う。 (1) ハムスターの赤ちゃんの様子を考える。  (2) ハムスターのお母さんの気持ちを考える。	○ハムスターの赤ちゃんのかわいいところ とすごいと思うところはどこですか。 ・小さいところ。 ・目があいてないところ。 ・あくびをしているところ。 ・お母さんのおなかにくるまっているところ。  ◎お母さんは、どんな気持ちで赤ちゃんを育てているのでしょうか。 (お母さん) ・守ってあげるね。 ・大きくなってね。 ・病気にならないでね。	・資料の内容を把握させるために場面絵を提示する。  ・一生懸命生きている赤ちゃんの姿に目を向けさせる。  ・ワークシートを書かせる。 (ふき出し) ・ペアトークをさせる。 個 困っているペアには、声をかける。  ・役割演技を取り入れお互いの思いを共感させる。
閉	3 家族からの手紙を読む。	○自分が生まれたときの手紙を読んでどう思いましたか。 ・うれしい。 ・ありがとう。 ・命を大事にするよ。	・自分の誕生を喜んでくれたことや命はかけがえのないものであることを気付かせる。
終末	4 振り返りをする。	○命を大切にするためにみんなはどんなことができますか。 ・あそぶ。 ・がんばる。 ・たべる。	・生きることの大切さについてもふれる。

#### 【評価】(評価方法)

※生きていることや命について考え、命はかけがえのないものとして大切にしようとしている。  
(発言) (ワークシート)

○準備物 挿し絵・保護者からの手紙

## 5 他の教育活動との関連



## 6 板書計画



黒板

う  
み  
と  
こ  
こ  
ろ  
あ  
こ

ま  
な  
こ  
う  
は  
る  
か  
こ  
う  
ろ  
た  
う

り  
く  
ち  
ひ  
ろ  
ゆ  
う  
き  
み  
う

ひ  
な  
こ  
こ  
う  
き  
ゆ  
あ  
は  
る  
と

つきの	ひなた	ひま	ともや
-----	-----	----	-----